答え 3月12日 今日は何の日クイズ

赤い字が答えです



財布の日にちなんで「お金とお財布クイズ」

【第1問】昭和33年に登場した、はじめての一万円札の顔は？

① 聖徳太子　② 福沢諭吉　③ 渋沢栄一

最初の一万円札は聖徳太子。昭和59年に福沢諭吉、令和6年に渋沢栄一へかわりました。「初任給はいくらでしたか」と聞くと、話が広がります。

【第2問】令和6年に出た、新しい五千円札の顔は？

① 樋口一葉　② 津田梅子　③ 与謝野晶子

津田梅子は6歳でアメリカに留学し、のちに女子の学校（いまの津田塾大学）をつくった人です。ひとつ前の五千円札の顔は樋口一葉でした。

【第3問】500円玉が登場したのは？

① 昭和32年　② 昭和45年　③ 昭和57年

昭和57年に500円玉が登場し、それまでの500円札とならんで使われました。今の500円玉は3代目で、色のちがう金属を組み合わせた形になっています。

【第4問】穴のあいている硬貨は5円玉と、もう1つは？

① 1円玉　② 10円玉　③ 50円玉

穴あきは5円玉と50円玉。穴があると、さわっただけでも見分けやすくなります。50円玉は昭和34年から、今と同じ穴あきの形です。

【第5問】契約や勧誘で困ったときの「消費者ホットライン」の番号は？

① 110　② 188　③ 119

「188（いやや）」と覚えます。近くの消費生活センターなどにつながり、訪問販売や電話の勧誘で困ったときに相談できます。電話のそばに貼っておくと安心です。

【第6問】春に使い始める財布は、縁起よく何と呼ばれる？

① 張る財布　② 晴れ財布　③ 春風財布

「春」を「張る（ふくらむ）」にかけて、春財布は縁起がよいといわれます。反対に秋は「空き財布」といわれることも。言葉遊びから生まれた言い伝えです。

ねらい： 記念日の話題から、知っていることを思い出します。
声かけ： 『「今日は何の日？」から、話を広げてみましょう』
メモ： 答えのあと、うんちくを読み上げると話が広がります。

まいにち元気プリント道場
プリントのダウンロードはこちら →

まいにち元気道場 監修 作業療法士 石田竜生
© 株式会社おふとん　施設・教室・ご家庭で自由にコピーしてお使いいただけます